

# いしかり 市議会だより



## 表紙の団体

### 石狩剛柔会スポーツ少年団

平成11年に、柔道を通して社会貢献ができる子どもたちの育成を目指して発足。現在は3歳～中学2年生まで11人が所属し、毎週火・木・金曜にB&G海洋センターや花川南コミセンで、元気いっぱい柔道を楽しんでいます。

#### 問合せ

代表 後藤さん

☎090・7510・0680



|                   |    |
|-------------------|----|
| 市議会の新しい構成が決まりました… | 2  |
| こんなことが決まりました…     | 3  |
| 一般質問…             | 4  |
| 委員会活動だより          |    |
| 全国市議会議長会表彰状の伝達…   | 15 |
| 特集 所管事務調査…        | 16 |

# 市議会の新しい構成が決まりました

令和7年5月30日開催の第2回臨時会で、加藤泰博議員を議長に、阿部裕美子議員を副議長に選出しました。



議長  
加藤 泰博



副議長  
阿部 裕美子

## 総務常任委員会

総務部、企画政策部、財政部等の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長  
伊藤 一治



副委員長  
片平 一義



委員  
山本 由美子



委員  
蜂谷 高海



委員  
山本 健司



委員  
鈴木 圭一



委員  
花田 和彦

## 厚生常任委員会

環境市民部、福祉部等の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長  
高田 静夫



副委員長  
松本 喜久枝



委員  
阿部 裕美子



委員  
神代 知花子



委員  
金谷 聡



委員  
山田 敏人

## 建設文教常任委員会

建設部、水道部、教育委員会の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長  
上村 賢



副委員長  
遠藤 典子



委員  
山崎 祥子



委員  
青山 祐司



委員  
日下部 勝義

## 議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るための協議を行うとともに、議長の諮問に関する事項の審査を行います。

委員長 片平 一義  
副委員長 山田 敏人  
委員 遠藤 典子  
委員 蜂谷 高海  
委員 日下部 勝義

## 議会広報特別委員会

議会広報の編集及び議会インターネットテレビ放映に関する事項について審査を行います。

委員長 金谷 聡  
副委員長 青山 祐司  
委員 山本 由美子  
委員 山崎 祥子  
委員 山本 健司  
委員 鈴木 圭一

※委員については議席順

## 一部事務組合派遣議員等一覧

### 監査委員

日下部 勝義

### 石狩北部地区消防事務組合

松本 喜久枝 山田 敏人

### 石狩教育研修センター組合

花田 和彦

### 石狩湾新港管理組合

遠藤 典子 片平 一義  
高田 静夫

### 石狩西部広域水道企業団

金谷 聡 上村 賢  
伊藤 一治

### 民生委員推薦会委員

松本 喜久枝 高田 静夫

### 都市計画審議会委員

遠藤 典子 花田 和彦

### 空家等対策協議会委員

花田 和彦

## ■党派派名一覧

| 党派派名                      | 氏 名                                                  |
|---------------------------|------------------------------------------------------|
| 石 政 会                     | ◎日下部 勝義 青山 祐司 山本 健司 鈴木 圭一<br>山田 敏人 高田 静夫 伊藤 一治 花田 和彦 |
| 公 明 党                     | ◎阿部 裕美子 遠藤 典子 山本 由美子                                 |
| 日 本 共 産 党                 | ◎松本 喜久枝 蜂谷 高海 山崎 祥子                                  |
| 改 革 市 民 会 議               | ◎片平 一義 金谷 聡 上村 賢                                     |
| 無 所 属 ( 議 長 )             | 加藤 泰博                                                |
| 無所属(「やさしい社会」<br>をつくる市民の会) | 神代 知花子                                               |

※◎は党派の代表

※委員については議席順

# こんなことが決まりました



## 第2回臨時会 (5月30日)

傍聴者なし

令和7年第2回臨時会は、5月30日に開催され、正副議長の選挙、各常任委員会の選任、補正予算などを審議しました。

### 《《《 第2回臨時会 議決結果 》》》

#### 全会一致で決まったこと

- 令和7年度補正予算 ・ 石狩市一般会計補正予算(第2号)
- 承認 ・ 専決処分につき承認を求める件(令和6年度石狩市一般会計補正予算(第15号))  
・ 専決処分につき承認を求める件(令和7年度石狩市一般会計補正予算(第1号))  
・ 専決処分につき承認を求める件(石狩市税条例及び石狩市都市計画税に関する条例の一部を改正する条例)  
・ 専決処分につき承認を求める件(石狩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 同意 ・ 石狩市固定資産評価員選任について同意を求める件

#### 会派の態度が分かれたもの

- 同意 ・ 石狩市監査委員選任について同意を求める件

| 石政 | 公明 | 共産 | 改革 | 無 | 採決結果 |
|----|----|----|----|---|------|
| ○  | ○  | ○  | ○  | — | 可決   |

石政:石政会所属議員8人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人  
※「—」は採決時に退席したことを示します



## 第2回定例会 (6月11日~27日)

傍聴者19人

令和7年第2回定例会は、17日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

### 《《《 第2回定例会 議決結果 》》》

#### 全会一致で決まったこと

- 令和7年度補正予算 ・ 令和7年度石狩市一般会計補正予算(第3号)  
・ 令和7年度石狩市下水道事業会計補正予算(第1号)  
・ 令和7年度石狩市一般会計補正予算(第4号)
- 条例の一部改正 ・ 石狩市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案  
・ 石狩市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案  
・ 石狩市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例案
- 報告 ・ 令和6年度石狩市一般会計継続費繰越計算書報告の件  
・ 令和6年度石狩市一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件  
・ 令和6年度石狩市下水道事業会計予算繰越計算書報告の件  
・ 専決処分報告の件(工事請負変更契約締結の件)
- 同意 ・ 石狩市固定資産評価審査委員会委員選任について同意を求める件
- 発議 ・ 石狩市議会広報特別委員会設置の件
- その他 ・ 町の区域の変更の件  
・ 財産の取得の件  
・ 工事請負契約締結の件  
・ 契約締結の件  
・ 人権擁護委員推薦について意見を求める件  
・ 市道路線変更の件
- 意見書 ・ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書  
・ 米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書  
・ 米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書  
・ 事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書  
・ 地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書  
・ 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書  
・ 地方財政の充実・強化に関する意見書  
・ 2025年度北海道最低賃金改正等に関する意見書  
・ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充と豊かな学びを求める意見書





石政会  
いとう かずはる  
**伊藤 一治**

## 地域公共交通機関 バス路線廃止について

**問** 市内唯一の路線バス事業者である中央バスから石狩線・札幌線・トーマン団地線を廃止したい旨の打診があったと伺いました。廃止されると石狩庁舎以北全ての地域が交通空白地になる可能性があることから、撤退後の公共交通の在り方を市はどのように考えているか伺います。

## 官民連携体制で 代替交通の構築を進める

**答** 中央バスからは運転手不足に改善の兆しが見通せず、現状の人員での全路線維持が難しくなっている中で今回の廃止提案になったと伺っております。市では現在同社との協議と並行して地域交通事業者と代替案の検討を行っています。地域公共交通活性化協議会や住民等のご意見を伺い、地域需要を的確に捉え、技術革新が進む交通サービスについても調査していきます。

を伺い、地域需要を的確に捉え、技術革新が進む交通サービスについても調査していきます。

**再質問** 今後は事業者・自治体・地域住民の連携による三位一体の運行体制を早急に提示すべきと考えますが、見解を伺います。

**再答** 代替交通に市の関与は必須であり、事業者との協議は現在新港地域と隣接エリアで行っている市内デマンド事業のように官民連携体制を構築し、地域ニーズに柔軟に対応できる仕組みにしていきたいと考えています。  
(市長)

## 厚田斎場と浜益斎場の 廃止・統合案について

**問** 市は本年度をもって厚田斎場と浜益斎場を廃止し、石狩斎場に統合するという案を携え、地域で説明を行っていると聞いています。統合を検討するに至った背景と、統合へのスケジュールを伺います。

## 持続的な火葬場確保と 長寿命化を講じるもの

**答** 近年札幌市山王斎場の利用が増加する中、両斎場は稼働が少なく火葬

炉の温度が上がらないなど支障が出ていることから火葬場を1カ所に統合し、さらに長寿命化策を講じようとするものです。5月に地域協議会等に統合案の説明を行い、7月から各地域で意見交換会とアンケートを実施するほか、9月のパブリックコメントを経て12月の定例会に条例改正案を上程する予定としています。  
(環境市民部)

**再質問** 厚田や浜益の自宅で葬儀を行い、石狩斎場または札幌市山王斎場で火葬を行う場合、自宅と斎場の往復等で負担が生じることに支援を行う考えはないか伺います。

**再答** 統合で生じるそれぞれの不便さはアンケート等で寄せられる意見なども含め今後の検討課題とさせていただきます。  
(市長)



▲浜益斎場



▲厚田斎場

## 地域農業の将来計画の 優位点と課題について

**問** 改正農業経営基盤強化促進法に基づき全市町村が地域農業の将来計画、いわゆる地域計画を策定することとなり、昨年度末に策定済みの本市はさらに将来利用者を明確化した目標地図等を策定しています。この策定による効果と浮き彫りになった課題を伺います。

## 耕作状況明確化の効果と 農地分散化等を懸念

**答** 目標地図上の農地を耕作者ごとに色分け表示したことで集落単位での耕作状況などが明確となる一方、可視化で耕作者が飛び地で農地を所有している状況も明らかとなりました。今後は耕作者の高齢化や離農に伴い、さらなる農地の分散化が進むことが予想され農業生産の維持・発展に大きな課題となっていますが、解決には農地集積等が求められることから、市では関係機関と連携を図りながら地域計画に基づく施策を着実に推進していきたいと考えています。  
(産業振興部)

## その他の質問

●旧発定小学校について



公明党  
あべ ゆみこ  
**阿部 裕美子**

## 乳幼児への指定ごみ袋 交付方法について

**問** 本市では新生児から3歳未満の乳幼児がいる世帯に指定ごみ袋を無料で交付しています。対象年齢や支給量を他自治体と比較すると非常に手厚く自慢できる子育て施策ですが、3歳までの分を一括で手渡すことになっているため赤ちゃんを連れて運ぶのが大変です。そこで、配送することはできないか、または受け取りやすい方法に変える考えはないか伺います。

## 窓口での受け取り困難者には 対応等を検討

**答** 当該事業の交付窓口は市役所3階ごみ・リサイクル課もしくは支所となっております。このほかにも寝たきりの高齢者や障がい者の方がいる世帯に対しても指定ごみ袋の無償交付を行っています。窓口での受け取

りが困難な市民については状況に応じて庁内で協議の上、対応と交付方法を検討していきたいと思えます。  
(環境市民部)

## 災害時の医療的ケア児の ための避難施設について

**問** 市内に病児保育の受け入れが可能となる小児科クリニックが誕生しました。災害時も電源の確保が必須な施設のため、自家発電も備えていることから医療的ケア児のための福祉収容避難施設として協定を結び、災害用備蓄品などを整備して対策を充実させる必要があると考えますがいかがですか。

## 新規開業の多機能型施設と 協定締結に向け協議中

**答** 現在、市と本協定を締結している事業者は7法人、9施設が登録されています。協定では高齢者や障がい者、その他避難所での生活に特別な配慮が必要な方を要援護者と定義し、これに医療的ケア児も含まれますが、市内に医療的ケア児を受け入れる多機能型施設が開業されたことから、市では同施設との協定締結に向けて協議しているところです。なお、要援護者を受け入れる際の日常

生活用品、食糧、医薬材料等の必要な物資の補給は協定に基づき市が適切に対応していきたいと思えます。  
(福祉部)

## 北海道星置養護学校 石狩紅葉山校舎について

**問** ①障がいがある子どもたちにとって災害時に生活環境が変わることへの対応は難しいと聞いております。そのため、石狩紅葉山校舎を指定福祉避難所となるよう道と連携して推進すべきと考えますがいかがですか。

②同校舎は14年間、臨時的な分教室の扱いとなつているため、本年も分校となることを目指して道へ要望書と署名を提出し、保護者の困り事を北海道教育長に直接伝えることができました。学校に最低限必要である校長や事務員、公務補はいるべきであり、冷房やトイレ等の整備を含め安心安全な体制となるよう市から道へ要望を届けていただけないでしょうか。

## 引き続き分校化の実現に向け 道と議論を重ねる

**答** ①当該校舎は施設全体が市の緊急避難場所として指定され、人口集中地区にあるため災害時には多数の

市民の避難が見込まれる拠点となっている上、避難所の開設期間が長期化した場合には本来の教育機能への影響も想定されることから福祉避難所として指定するには慎重な検討と十分な調整が必要であると考えています。  
(福祉部)

②市教委ではこれまで地域の声を伝えるとともに複数回にわたり道教委と分校化に向けた意見交換を行い施設面などの課題を共有してきており、今後の方向性は設置者の道において判断されるものですが、引き続き分校化実現の可能性について議論を重ねていきたいと思えます。  
(学校教育部)



▲北海道星置養護学校石狩紅葉山校舎

## その他の 質問

- 市の公共交通について
- 土や砂等の処理について





日本共産党  
やまざき さちこ  
**山崎 祥子**

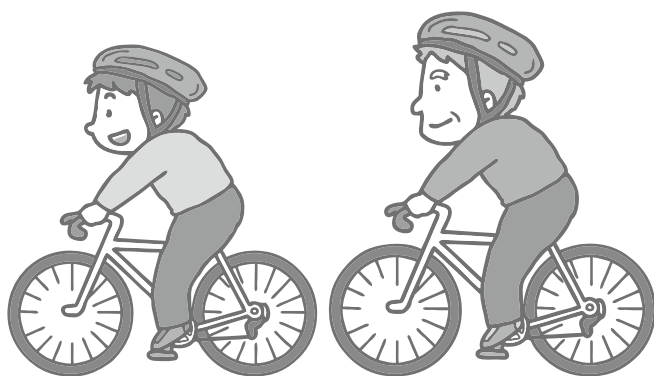
## 自転車ヘルメットの購入助成について

**問** 自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となつて2年が経ちます。その中で全国のヘルメット着用率が前年比で3.5ポイント上昇しており、要因として自治体によるヘルメット購入補助制度の導入が大きいと考えます。石狩管内では恵庭市が本年度から取り組んでいますが、子どもから高齢者まで市民の命を守るために本市も購入助成を行うべきと考えますがいかがですか。

## 利用者が自らの命を守る意識の醸成が重要

**答** 着用率の向上を図るには、自転車の利用者や保護者がヘルメット着用の重要性を認識し、自らの命を守るため購入と着用に努めるといった意識の醸成が何よりも大切です。購入費の助成は考えていないところで

すが、これまで市が行ってきた広報周知による注意喚起のほか、小中学校や高齢者クラブの交通安全教室での啓発活動などを今後も札幌北警察署等と連携しながら継続的にを行い、ヘルメットの着用が習慣となるよう取り組んでいきたいと思っています。  
(環境市民部)



## 加齢性難聴者への補聴器助成について

**問** 難聴が認知症の危険因子の一つであることが研究で明らかになる中、全国で補聴器の購入を補助する自治体が増えていきます。石狩管内では北広島市に続き本年度から千歳

市が開始し、恵庭市はモデル事業を始めていますが、本市も購入費用の助成に踏み切る時ではないですか。また、加齢性難聴者の実態を市として把握しているか伺います。

## 引き続き国の動向等を注視し対応する

**答** 高齢社会が今後より一層進展する中、聞こえが改善することは社会参加の促進や認知症予防の点で一定の効果があるものと認識しています。なお、補聴器の助成はフレイル対策の側面もあることから本来国において実施されるべきものと考えており、市では第10期の介護保険事業計画策定に向けて実施を予定している利用者アンケート内に「聞こえ」に関する項目を設け、加齢性難聴の状況を把握していきたいと考えています。また、本件は全国市長会の提言の中で後期高齢者や障害区分に限らず加齢性の軽度・中等度難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設等を継続要望していることから、引き続き国の動き等も注視しながら対応していきたいと思っています。  
(福祉部)

## 教育費の保護者負担軽減について

**問** 家庭では4月の進級と進学までにランドセルや制服、ジャージなど高額な必需品の準備をはじめ、入学してからもワークなどの教材費や給食費、修学旅行費、スキー用具など教育にお金がかかります。いわゆる隠れ教育費と呼ばれるこれら費用については市として保護者の経済的負担の軽減を図るべきと考えますが、見解を伺います。

## 各校が事業の見直し等に努めている

**答** ここ数年の物価高騰の影響等もあり、子育て世帯の家庭にとって教育に関わる負担感が増しているものと思います。各学校も保護者負担を可能な限り減らすことができるよう、これまで行ってきた事業の見直しやさまざまな工夫を行い、各学校内の検討委員会で保護者への理解が得られるよう努めているところですが、市教委では教育課程と密接に関係がある保護者負担は、学校による丁寧な説明が肝要と考えており、引き続き軽減に向け学校と議論していきたいと思っています。  
(学校教育部)



改革市民会議  
かなや さとし  
**金谷 聡**

## 本市の 道路通報システムについて

**問** 道路通報システムはLINEを活用して市民が確認した道路等の破損個所の位置や画像情報を市の担当部局に報告できるものです。課題解決までに要する日数が短く、その後の迅速な対応も含め好評なサービスですが、運用が3月末まで休止されているため早期雪解けで露出した損傷道路を報告できず、パンク被害に遭った事例も聞いています。そこで、システムの運用開始時期を早め3月から利用可能とし、市民の利便性を図る考えはないか伺います。

**答** 本年度より運用開始を来年3月からとする

本システムは令和3年4月より導入し、降雪で路面状況などの把握が困難になる12月から3月までの冬

期間を除き運用してきたところで、気象によっては3月上旬から雪解けが進み凍上被害などによる穴などが発生しやすい状況もあることから、本年度より運用は来年3月から開始していきたいと思えます。(市長)

## 市民図書館利用者カードの アプリ化について

**問** 図書館のさらなる利便性向上のために利用者カードのアプリ化に取り組む考えはありませんか。スマートフォン画面上で利用者番号のバーコードを表示できれば利用者カードを持ち歩く必要がなくなり書籍検索や書籍予約、貸出延長や書籍購入のリクエスト等がアプリから簡単にを行うことができます。また、貸出履歴からAが判断し、利用者個人の好みに合わせたお薦めの書籍を表示することが可能となれば市民が図書に親しむ機会がより一層増えるのではないかと思いますがいかがですか。

**答** システムの次期更新時宜を捉え、研究を進める

市民図書館ではこれまでホームページでの図書検索や本の予約、貸出期間の延長など各種サービスのデジ

タル化を進めており、今後も利便性や効率性向上のための新技術導入は重要と考えています。なお、利用者カードのアプリ化等を行うには図書館システムの改修が必要となることから次期更新のタイミングを捉え、ご提言のアプリを含めたデジタルサービスに関して他自治体の導入事例などを情報収集しながら研究を進めていきたいと思えます。(市民図書館)



▲石狩市民図書館

## ひとり親家庭への 支援拡充について

**問** 本市には小学生までの子どもと同居するひとり親家庭に対して病気や就職活動などで一時的に保

育や家事に援助が必要となった際に家庭奉仕員を派遣して育児や食事の世話などを行うサポート事業があります。ひとり親家庭は常に家庭内の作業を一人で担うワンオペ状態であるため、例えば家の周囲の草むしりや家の一部修繕など日常の困り事にも寄り添った支援等を提供する考えはないか伺います。

## 引き続き道の要綱に基づき 事業を行う

**答** 本市では平成16年度からひとり親家庭生活サポート事業を行っており、令和6年度は8世帯延べ43回の派遣実績がありました。この事業は道の要綱に基づき実施しており、家事や介護、子育て等に関わる支援のみを対象としていることから、草むしりや家の修繕など日常生活の困り事に支援を拡充する考えはありませんが、今後も本事業が必要なご家庭に行き届くよう周知していくとともに、ひとり親家庭の方々に寄り添い、さまざまな声に広く耳を傾けるよう努めていきます。(子育て推進部)

## その他の質問

- 花川北交番建て替えの進捗よく状況について
- みどりのリサイクルについて
- ふるさと納税の使途指定項目の拡充について





石政会  
あおやま ゆうじ  
**青山 祐司**

## 石狩市鳥獣被害防止計画の更新について

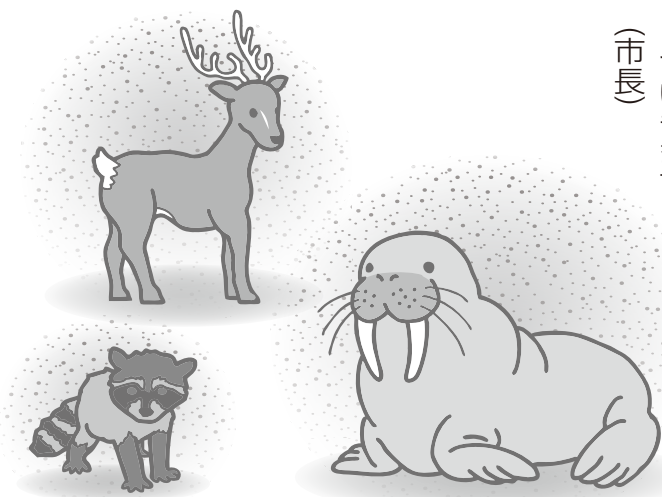
**問** 回復傾向にあったニシン漁の漁獲量が前年比で大幅に減少したのはトドによる被害が要因の一つとも言われており、さらにはエゾシカやアライグマ等による農作物への被害も増加傾向にあります。その中で、本市はこれらの防止策を総合的・効果的に実施するため鳥獣被害防止計画を策定しており令和7年度が最終年度にあたりますが、被害の現状と本計画の更新策定を含めた今後の取り組みについて伺います。

## 効果的で実効性のある計画となるよう策定

**答** トド等の海獣による漁獲物の被害や網の破損など、本市の令和6年度の漁業被害額は約2億5千8百万円となっており、対策は銃器による駆除の継続や国の機関で試験的に実

施しているドローンを活用した追い払いに期待していますが、海獣による漁業被害の補償制度創設についても引き続き北海道市長会を通じて国へ要請します。一方、エゾシカやアライグマ等による水稻や小麦などの農業被害額は約1千3百万円で、電気柵の設置やくりわな等の対策を講じており、今後も猟友会の協力のもと農協や漁協などの関係機関と連携しながら被害の低減に努めていきます。また、それら活動の指針となる石狩市鳥獣被害防止計画の改訂にあたってはこれまでの取り組みにおける成果や課題を踏まえ、より効果的で実効性のある計画となるよう策定していきます。

(市長)



## 市街化調整区域の建築物について

**問** 計画的なまちづくりを図るために設定されている市街化調整区域では原則として開発や建築行為は認められていませんが、市内に幾つか見受けられるのが現状です。そこで、市が把握している市街化調整区域での違法建築物の件数と把握の方法、把握後の対応はどうなっているのか伺います。

## 都市計画法違反建築物は現在90件

**答** 都市計画法に違反した建築物は現在90件となっています。違法建築物への対応は建築・税務、水道、消防など家屋に関する情報を把握する関係部局と、市道のパトロールを行う維持管理課との横断的な情報共有や市民からの通報等により情報を得た際に建築主もしくは管理者から事情聴取を行い、当該行為が違反と判断した場合は違反者にその行為が法に違反することを認識させるとともに工事の停止、違反建築物の撤去、建築物の使用停止等の是正指導を行っています。(建設部)

## 日本海沿岸の地震・津波被害想定について

**問** 先日、道が公表した日本海沿岸の地震・津波被害想定で本市が受ける可能性のある被害数字が具体的に示され市民も驚き不安にかられましたが、この結果を受けて今後、市はどのような防災・減災計画を考えているのか伺います。

## 道などと連携し防災・減災施策の充実に努める

**答** 現時点でこの地震の30年以内の発生確率はほぼ0%とされていますが、大規模の被害を想定した備えを講じていくことが重要であるものと認識しています。また、今後、道が今回の被害想定を踏まえ日本海沿岸地域全体を対象とした減災計画の策定を早期に着手する方針だと伺っており、本市としてもその計画の方向性を的確に受け止め、市独自の減災計画の策定に向けて検討を進め、引き続き道や関係機関と連携を図り防災・減災施策の一層の充実と推進に努めていきます。(危機管理監)

## その他の質問

- 一部銀行での公金窓口納付の有料化について
- 花畔北4号線のアスファルト舗装整備について
- 花川北交番の開設状況と警察署誘致の進捗について





公明党  
えんどう のりこ  
**遠藤 典子**

## 路線バス廃止後は住民が望む代替交通の創設を

**問** 石狩庁舎以北の中央バス路線廃止を聞いた住民に先々への不安と混乱が広がっています。代替交通案の提示後は地域住民の意見や要望を十分に聴く機会が設けられるとありますが、どのような形で行う予定なのか伺います。

## 意見交換を重ね地域の実情に即した事業を検討

**答** 市は地域公共交通活性化協議会を開催した後、影響を受ける本町連合町内会・ヤウスバ地区連合町内会・右岸地区連合町内会・厚田区自治連合会・浜益区自治会連合会と意見交換の場を設けたいと考えており、地域からいただいた意見を基にまずは喫緊の代替交通の構築を急務とし、継続的に意見交換を行う中で地域の実情に即した公共交通を形成します。(市長)

## 5歳児健康相談のさらなる充実と見直しについて

**問** ①こども家庭庁が5歳児健診の本格的な全国展開を決定する中、本市は早くから5歳児健康相談として取り組んできましたが、この相談の目的と実施方法、支援体制について伺います。

②国の財政支援に伴い本市では健康相談をさらに充実させる取り組みを考えていますか。  
③事業は相談よりも健診の方が積極的に受けるものという印象を与えていると思います。そこで5歳児健診として名称を改め内容を見直してはどうですか。

## 保護者等からの好評価を踏まえ現行の内容で継続

**答** ①本事業は子どもの心身の成長や発達程度の確認のため市内認定こども園やりんくるで年1回実施しています。保護者には事前に問診票や健診履歴など提出いただき、それらを参考にしながら保健師や臨床心理士などが友達との自由遊びなどの様子を観察した後、カンファレンスを実施。支援が必要なお子さんには園と結果を共有するとともに保護者に個別相談を案内し、子ども発達支援

センターの利用を紹介するなど必要な支援につなげています。

②本事業は平成22年から試行錯誤を重ねながら他自治体に先行して実施し、園や保護者から大変高い評価をいただいていることから現行の内容で継続していきたいと考えています。

③健診として実施する場合、こども家庭庁のマニュアルでは診察を担当する医師の配置が必須とされています。そのため、健診への見直しは全国の自治体実施事例の中で医師の関与がどのような効果をもたらすかなどの新たな知見や今後国で検討が予定されている実施方法のあり方を注視し適切に対応していきます。(子育て推進部)



▲5歳児健康相談

## ヒアリングフレイル対策について

**問** 聞き取る機能の衰えを意味するヒアリングフレイルは認知症や社会的孤立のリスクを高めることから早期に発見し医療につなげることが重要です。まずは普及啓発で自らの聞こえの大切さに気づいていただくため高齢者の集いなどを利用して聴脳力チェックアプリによるスクリーニングや軟骨伝導イヤホンのお試ししながら対策を推進すべきではありませんか。

## 啓発チラシの配布や予防方法を周知

**答** 今後各地域包括支援センターが行う介護予防教室や市の各種健診などの機会を捉え啓発チラシを配布するほか、広報いしかりと市のホームページに耳の聞こえチェックシートや聴脳力チェックアプリの活用方法を掲載するなどフレイル予防の重要性をお知らせしていきたいと思っています。(福祉部)

## その他の質問

●無痛分べん費用の助成について



日本共産党  
はちや たかうみ  
**蜂谷 高海**

## 厚田区、右岸地域、本町地域の公共交通について

**問** 4月に本町地域、トーマン団地、厚田区のバスが減便になりました。さらに11月には石狩線、来年3月末にはトーマン団地線及び札幌厚線の市庁舎以北を廃止する計画が示され、北部地域に深刻な影響を及ぼすと想定されます。

① 地域公共交通活性化協議会で原案が示されてから各地域で意見交換を行うとのことですが、意見や要望はどの程度反映されますか。

② 1～4月に行われた中央バスとの協議はどのような内容でしたか。  
③ 今後は通勤・通学・通院を優先し、幹線の公共交通の維持を図ることですが、幹線以外域はどうなりますか。

## 代替手段の構築が最優先

**答** ① 地域公共交通活性化協議会で

案をはかった上で地域の方のご意見を伺う機会を、例えば地域協議会等でお聞きするような形をとりたいと思っています。

② 昨年12月に中央バスから撤退の意思が示されて以降、期間の延長や存続をお願いしてきましたが、5月に廃止の具体的な期日を明示されました。

③ 既存路線が担ってきた機能の維持を最優先課題として、取り組みを進めていきます。(企画政策部)

**再質問** ① 4月から昼時間帯に戻ってくる便がなくなり困っているという声を聞いています。市民の意見をダイヤ編成に反映してほしいと思いますがいかがですか。

② 右岸地域五の沢、高岡、美登位、北生振はすでに公共交通の空白地帯になっています。これらの地域の交通についても同時進行で検討できませんか。

**再答弁** ① 既存交通の代替手段を構築することを最優先の課題と考えています。地域の実情はその後しっかり検討していくつもりです。

② 交通空白地の状況は認識しており、昨年策定した石狩市の地域公共交通計画等においても課題として捉えていますので、検討していく考えです。(企画政策部)

## 浜益区の歯科医不在について

**問** 浜益区の歯科診療所の再開については昨年の9月定例会でも質問しました。浜益区で暮らす住民の健康にとって危機的な状況であり、対応は待ったなしと考えますが、見解を伺います。

## 引き続き診療体制の確保に引き組む

**答** 札幌の歯科医師会等と協議を重ねていますが、開設のめどは立っていない状況です。一定の受診者数を維持できるかという経営上の懸念や人材確保の課題があります。引き続き診療体制の確保に向けて取り組みます。(健康推進部)

**再質問** これまでと同じ対応では何年経っても変わらないと思います。経営の課題であれば、交通費や宿泊場所、設備の更新費用など、行政で補助制度を創設できませんか。旧石狩市域では小児科や皮膚科の誘致制度を作った実績があり、浜益区の歯科についても誘致制度の創設は重要だと考えます。また、現時点ですでに住民が困っているのです。石狩市内の歯科に送迎するなどの対策が必要ではないでしょうか。

## 再答弁

浜益区における開業支援は、地域で安定的な診療体制が継続されるかがポイントだと考えています。送迎については歯科受診にとどまらず、厚田区・浜益区における公共交通の問題を含め、横断的な検討が必要だと認識しています。(健康推進部)

**再々質問** 地域での継続的な経営については、以前の歯科診療所のように週に1～2回程度の診療日数にするなど工夫できると考えます。ぜひ誘致の制度を検討していただきたい。送迎については、厚田区では厚田クリニックへの通院バスがあります。似たような枠組みでできませんか。

**再々答弁** 自治体による開業支援や歯科医院に通う交通手段の確保などは複合的な政策が必要だと考えています。将来的な受診の動向を見定めながら協議を重ねます。(副市長)



## その他の質問

● 国民健康保険の資格証明書の発行について





改革市民会議  
かみむら さとし  
**上村 賢**

## 鳥獣保護管理法の改正と対応について

**問** ① 4月に鳥獣保護管理法が改正され市町村長が場所・緊急性・方法・安全性の確保の4要件を満たしていると判断した場合に緊急銃猟が認められることになりました。この判断は現場で誰が行うことを想定しているのか伺います。

② 要請を行う際、ハンターの基準はどのように考えられていますか。また、駆除に出動したハンターがけがや死亡したときの補償はどのようになるのか伺います。

## 改正法の円滑な運用に向けた準備を行う

**答** ① 緊急銃猟は市町村長が政令で定められた技能要件を満たす捕獲者に委託して実施することが可能とされていますが、夏頃に予定されている施行通知や、(仮称)緊急銃猟ガイドラ

インを踏まえ適切な判断や手順の実施に取り組んでいく考えです。

② 緊急銃猟は狩猟免許を受け適正に銃猟を実施するために必要な経験・技能・知識を有する捕獲者で構成される北海道猟友会札幌支部石狩部会に委託することを予定しています。また、捕獲者がけがや死亡した場合の補償については猟友会が加入している傷害保険により対応いただくこととなりますが、今後の国の通知等を踏まえて適切に対応します。  
(環境市民部)

## 市街化調整区域での違法行為防止に向けた対策について

**問** 市街化調整区域での違法建築物の状況をどのように認識されているか伺います。また、違法建築物と認識されている建築物で課税されている建物があれば伺います。

## 事業者が正しく法令遵守できるよう情報提供の強化に努める

**答** 都市計画法に違反した建築物はまちの秩序ある整備の妨げになるほか、建物の倒壊の可能性など周辺環境に悪影響を及ぼす恐れがあるものと考えています。また、固定資産税の家屋に係る賦課は、違反建築物であ

るか否かを問わず家屋として一定の要件を満たしたものは全て課税対象となります。

**再質問** 市が是正指導や周知啓発に努めている中でも違法建築が多く見られますが、原因を市はどのように考えているのか伺います。

**再答** 主な要因は市街地に比べ土代が安価であることや当該区域での建築物の規制が複数の法令にまたがっており事業者に分かりづらい面があるため意図せず違反に至るケースも見受けられることから看板の設置など事業者が法令を正しく理解し遵守できるよう情報提供の強化に努め適正な土地利用を促進していきます。  
(建設部)

## 市内道路の安全環境維持について

**問** ① 雪解け後の道路はアスファルトに亀裂が目立ちセンターラインなどが消えている所も見受けられますが、この状況をどのように認識しているか伺います。

② 区画線や道路標示はそれぞれどのように点検されているのか伺います。

## 各管理者が状況把握や対応に努める

**答** ① 市内道路は舗装されてから数十年が経過している路線もあり経年劣化や凍害により舗装の状態が悪化している箇所が散見されるものと認識しております。また、区画線や横断歩道などの道路標示についても車両通行による摩耗などにより標示が消失し薄くなるなど劣化することがあるものと認識しています。

② 区画線や道路標示は国道、道道、市道などの道路種別により管理者が異なり、横断歩道や停止線等の路面標示は公安委員会が設置・管理を行っていますが、それぞれの機関で状況把握がされているものと認識しています。  
(建設部)



▲危険な穴を埋める作業の様子

## その他の質問

- 災害拠点に接続する上下水道の耐震化について
- 介護事業に携わる市内の外国人について



石政会  
やまもと けんじ  
**山本 健司**

## こどもの権利条例に基づく 中学生の予算裁量について

**問** ①広島県安芸高田市では生徒会長に百万円の予算裁量を付与し、学校生活をより良くするための取り組みが生徒主体で企画実行されました。中学生に対して、このような一定の予算を委ねる仕組みの導入について市の見解を伺います。

②こどもの権利条例の理念を教育行政や学校現場でどのように具現化していくか今後の方向性を伺います。

## 本年度新設のこどもモニター 制度では予算措置を検討

**答** ①本市が本年度より実施することでもモニター制度は子どもたちからの提案の中で必要なものには予算措置を検討しております。他市の事例については子どもたちにあらかじめ十分な情報提供と検討の機会が与えられた上で主体的に決定すること

とが重要だと考えています。(市長)  
②学校教育現場では子どもの権利についての授業や研修の実施、意見を表明しやすい環境づくり、子ども自身が権利行使の主体者であることを認識できる指導、校則の妥当性を子どもたちが主体的に検証することなどが重要であると各校長に訴えており、これらの実践を通し児童生徒、教職員、保護者に本条例の理念がしっかりと定着するように取り組んでいきたいと思っています。(教育長)

## 屋内遊戯施設の現状と 今後の整備について

**問** ①天候に左右されず安心して遊べる屋内遊戯施設は単なる遊び場ではなく子育て世代の定住促進にも資するものと考えますが、市内既存施設の広さや遊具の多様性、利用者ニーズの対応の観点から捉えた課題認識について伺います。

②南幌町にある「はれっぱ」のような遊戯特化型施設の整備を本市でも検討されているか伺います。

## 既存児童館の特徴を生かし 最大限活用する

**答** ①市内4つの児童館のうち、ふれあいの杜子ども館ふれっこと、こども

未来館あいぼーとは大きな遊戯室があり、利用者数は増加傾向ですがコロナ禍以前の水準には戻っておらず、引き続き利用しやすい環境づくりに努めます。  
②現時点では児童館がそれぞれの特徴を生かし多年代の子どもの居場所や未就学の親子が集う子育て支援拠点となるよう既存施設の最大限活用を進めるべきと考えており、新施設の整備計画は考えていないところで。(子育て推進部)

## 地域の祭りの創出と 支援について

**問** ①花火大会の再開や新たな祭りの創出を市が主催もしくは核となつて取り組む考えはないか伺います。また、若者や市民ボランティアとの協働推進に向けた地域ポイント制度の導入検討について見解を伺います。

②地域や町内会による小規模なイベントに対し広報連携や人材・財政支援の仕組みを整備する考えはありませんか。

## 関係団体との協議や 広報周知等を継続

**答** ①祭りの開催は市民の一体感な

どまちづくりに意義があるものと認識しており、今後、商工会議所などと協議していききたいと思っています。また、地域ポイント制度の導入は他自治体の先進事例や制度設計等について情報収集していきます。

②市内各地で催されている行事は引き続き広報いしかりのイベントカレンダーへの掲載や本年度から活用を始めた石狩市行政情報ポータルいしポ等により支援を行うとともに、助成制度の情報を提供し備品や会場施設の借用などの側面的な支援にあたっていきたいと思います。(産業振興部)



▶花畔神社例大祭(2024年9月)





日本共産党  
まつもと きくえ  
松本 喜久枝

## 物価高騰から市民の命・暮らしと事業経営等を守るために

**問** 物価高騰に対応する「重点支援地方交付金」として令和7年度一般会計予備費が閣議決定され、国から推奨事業メニューが示されています。市は、困窮者世帯だけでなく、物価高騰で今生活が大変な状況にある全ての世帯に対して、水道料減免や光熱費等の補助を求める他、今まで対象外だった中小零細事業者への支援等を行うことこそ最も必要な施策だと考えますがいかがですか。

## 消費と業務継続を支援する交付金活用事業を早期実施

**答** 国から本市には約2千6百万円の重点支援地方交付金の限度額が示され、現在、生活者支援と事業者支援の両方の観点から総合的に勘案し効果が幅広く行き渡るよう実施事業の取りまとめを行っております。スピー

ド感をもつて予算化するために今定例会最終日での追加提案を目指すとともに、速やかな事業の実施に努めていきます。  
(企画政策部)

## 学力競争と教職員の働き方を見直し、子どもを大切に する教育に

**問** ①今、学校現場では教職員の負担増が深刻化し、子どもたちの教育にも悪影響を与えています。教職員を大幅に増やすことと、長時間労働の解消について国と道に対し強く求めることが重要であると考えますが見解を伺います。

②過度な学力競争と管理をやめ、子どもも教員も大切にする教育とするために市教委は全国学力・学習状況調査(学力テスト)を行わないよう求めます。また、さらなる競争を拡大し、学校間の順位をつけるなどの公表は行わないようにすべきと考えますがいかがですか。

③精神的疾患等で病休や、退職となる教職員が全国的に急増しており、自治体として教員の働き方と長時間労働について現状を把握し、改善へ向けて努力すべきと考えますが、市教委としての見解を伺います。

## 教職員の長時間労働抑制施策推進に向け道や国へ要望を継続

**答** ①教職員の長時間労働の抑制にはさまざまな施策の推進が必要であり、引き続き北海道都市教育委員会連絡協議会などを通して要望を道や国に届けます。

②市ではこの調査を児童生徒に必要な資質能力を育むための学習指導や改善に役立てるという本来の目的に鑑みて今後も実施を継続する一方、小規模校を抱える本市では学校名の公表が個人の結果の特定につながる懸念があるため学校間の順位をつけないなどの公表を行うことは考えていません。

③市教委では学校と月ごとに教職員の時間外勤務時間数を調査し実態を把握しており、ICT活用による校務の効率化や学校行事の精選化などの推進で時間外勤務時間数は着実に減少してきています。今後は改正給特法に基づき業務量管理・健康確保措置実施計画を策定し、教職員のさ



らなる負担軽減に向けた取り組みを進めます。(学校教育部)

## 全ての市立学校的女子トイレに生理用品の設置を

**問** 道教委が昨年度から全ての道立高校の女子トイレに生理用ナプキンの配置を始めています。保健室で子どもたちの相談を受けるためにトイレに設置できないとする答弁を繰り返していますが、設置する自治体が全国的に増えています。本市でも全小中学校の女性教員と子どもたちへアンケートを実施し、その意見を基に配置を検討する考えはありませんか。

## 保健室配布で子どもの悩みや家庭の状況等を把握

**答** 市では令和3年度と4年度に無償の生理用ナプキンを設置するモデル事業を行いました。保健室の養護教諭が子どもたちの悩みや家庭の状況を把握する機会が減ったことが報告されています。経済的な事情にとどまらず緊急に生理用品が必要となった場合には保健室でもらう方法があることの認知も重要で学校のトイレに生理用品が置いてあるという環境をつくることは考えていません。(学校教育部)



「やさしい社会」をつくる  
市民の会  
くましろ ちか こ  
**神代 知花子**

## 就職氷河期世代の支援について

**問** 現在40～55歳くらいの「就職氷河期世代」は老後に貧困化するリスクが高まっています。

①氷河期世代が直面する課題と支援の必要性についてどのように認識していますか。

②氷河期世代の国民年金の未納・免除率は他の世代と比べて高いといわれていますが、市ではどのような状況ですか。

## 非正規雇用の率が高く、支援の必要性を認識

**答** ①就職氷河期世代は非正規雇用率が高く、賃金水準も低く、これらによる不安や経済的困窮から精神的な問題を抱えるケースもあり、支援の必要性を認識しています。

②市独自の統計はありませんが、非正規雇用の率が高いことから、氷河

期世代が高齢期を迎えると基礎年金を満額受給できたとしても、生活保護の最低生活費に満たないケースが増加する可能性があると考えています。氷河期世代を含む全ての求職者が安定した雇用と収入を確保できるように、ハローワークや北海道、民間企業と連携して多角的な支援を展開していきたいと考えています。

(副市長)

## 未婚で妊娠する若者への支援を

**問** 本年4月、市内の住宅敷地内に置かれたバッグの中から赤ちゃんの遺体が見つかり、17歳の少女が遺棄の疑いで逮捕されました。市は公式LINEに相談窓口を開設

しましたが、どのような運営を行うのでしょうか。

## 市の公式LINEに相談窓口を開設

**答** 市の公式LINEを活用した「にんしんSOSいしかり」を5月末に開設しました。匿名でいつでもメッセージを送れるLINEの機能を活用したもので、市の保健師が平日の勤務時間内に対応します。現時点では相談は寄せられていません。

(子育て推進部)

**再質問** 予期せぬ妊娠や性被害から子どもを守るため、中学生に正しい知識を伝えていくことが大人の責任と考えますが、いかがですか。

**再答** 本市では経験豊かな助産師による思春期保健講座を市内中学校ですでに実施しています。

昨年度は2校で行いました。今、全ての中学校で講座が開けるように調整をしているところです。

(子育て推進部)

**妊娠したことにとまどっているあなたへ**

石狩市では思いがけない妊娠に悩んでいる方のためにLINEやメール、電話などで相談をお受けしています

生理が来ない... 妊娠したかも... 育てていけるか不安... 誰にも相談できない...

**ひとりで悩まないで一緒に考えましょう**  
(石狩市に住んでいる人や通学・通勤をしている人が対象です)

石狩市公式LINEから相談できます

① 上の2次元コードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます  
② 「基本メニュー」のタブをタップ  
③ 「にんしんSOS」のアイコンをタップ  
④ トーク画面から相談内容を送信

0133-72-3116

▼メール(メールフォームから送信) 右の2次元コードからアクセスできます  
▼対面相談 石狩市役所1階18番窓口/母子保健担当  
▼対応日時(下記以外は画面「にんしんSOSはかいどう」へ) 土曜日・日曜日・祝日以外の日:45～17:15

石狩市子育て推進部子ども政策課 【にんしんSOSいしかり】

▲街頭で配布した「にんしんSOSいしかり」のチラシ

## 議会での「やらせ質問報道」について

**問** 苫小牧市が市議会と党会派の質問と答弁を作成するよう職員に指示していた問題を受け、北海道新聞は道議会と9市議会でも同様のケースがあったと報道しました。石狩市はどうなのでしょうか。

## 質問の作成に市が関与することはありません

**答** 市議会における議員の質問は、市民の声を代弁するものです。執行機関として質問にお答えすることにより、市政の考え方や方向性などを示し、市民への説明責任を果たすことができると考えています。議会議員の質問の作成に執行機関が関与することは、地方自治体の二元代表制の本旨を損なうものであり、議会議員の自主性や主体性を尊重する観点からも、あつてはならないことと認識しています。本市においては、職員が議会議員の質問の意図や趣旨の確認を行うことはあっても、報道のような「やらせ質問」の実態はありません。今後ともより良い市政運営の実現のため、議会と執行機関がそれぞれの役割と責任を果たしつつ、市民の信頼にふさわしいります。(市長)

**その他の質問**

●中央バス路線廃止に伴う持続的な公共交通のあり方について



# 委員会活動だより

各委員会が4月～6月に審査した議案などをお知らせします。

## 総務常任委員会

防災、総合計画、農林漁業、新港企業、観光、予算、市税などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・石狩市強靱化計画の改訂について
- ・公共施設等総合管理計画実施計画について
- ・令和7年国勢調査について
- ・石狩市財政運営指針の改訂について
- ・日本海沿岸の地震・津波被害想定公表結果について
- ・庁舎以北の公共交通について

## 厚生常任委員会

環境、ごみ・リサイクル、町内会、子育て、高齢者・障がい者福祉などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・所管事務調査(リサイクル率の向上を通してのごみ減量について)
- ・火葬場の統合について
- ・石狩市営プール整備基本構想(案)について

## 建設文教常任委員会

道路維持、公園、公営住宅、除雪、上下水道、学校関係、図書館などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・所管事務調査(すでに排雪作業が終了した道路の調査について)
- ・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 石狩市結果報告
- ・令和6年度除排雪事業について

※所管事務調査とは、各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査のことです

## 議会運営委員会

第2回定例会までに届いた11の意見書のうち、本会議提案9、審議未了1、継続審査1という結果になりました。

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された事件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされないまま会期を終えるに至った場合のこと

### 定例会開催予定

次回の第3回石狩市議会定例会は9月2日(火)から開催を予定しています。

■石狩市議会政務活動費収支報告の概要を毎年8月号に掲載していましたが、紙面の都合上、掲載できませんでしたので詳細はホームページをご覧ください。

## 全国市議会議長会表彰状の伝達 (6月11日)

第2回定例会本会議開会に先立ち、全国市議会議長会表彰状の伝達を行いました。



市議会議員 10年以上表彰者  
神代 知花子 議員

## 特 集

# 所管事務調査

### 建設文教常任委員会 排雪作業が終了した道路を調査

今冬は、1月下旬まで積雪が少なかったにもかかわらず、早期に排雪作業が実施されました。しかしその直後から降雪が急増し、生活道路の通行に大きな支障が出る状況となりました。また、11月には中学生と市議会の意見交換会で、排雪の課題についての声も寄せられました。

こうした背景を受け、建設文教常任委員会では、令和7年2月5日に市から除排雪事業の報告を受けるとともに、市内4カ所の現地調査を実施。その調査結果に基づき、以下のような意見をとりまとめ、担当所管に要望しました。

#### 〈担当所管への要望〉

- ・生活道路の交差点角に置かれた雪の安全対策が必要である
- ・緊急車両の通行を確保するため、道幅の確保が必要である
- ・雪解けによる水たまりの排水対策が必要である



### 厚生常任委員会 ごみのリサイクルに関する調査

昨年11月に実施した市内中学生と石狩市議会との意見交換において、生徒側から提起された「リサイクル率の向上によるごみの減量」について、本委員会の所管であることから調査を実施。石狩市リサイクルプラザとリサイクルプラザ宮の沢をそれぞれ視察し、市内における4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを推進する上で、資源物のリサイクル状況を把握し、リユース方法や今後の課題解決に向けて取り組むべきことを担当所管に対し、次の通り提言しました。

#### 〈担当所管への提言〉

- ・ごみ減量化に向け、さらなる4Rの推進と周知・啓発を強化すること
- ・リユースを促進し、地域循環を支援すること
- ・民間事業者と連携しながらリサイクル事業を拡充・構築すること



☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

#### 石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元コードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。または市役所ホームページから右側の石狩市議会をクリックして会議録検索へ！



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット テレビ」でもご覧いただけます！

